

栃木県幼児教育センター

設立の目的・

幼児期は、人間が成長・発達をしていく上で基盤づくりを担う重要な時期であり、活力に満ち、心豊かで創造性に富み、新しい時代を切り拓いていく子どもを育てるためには、幼児教育に携わる教職員の資質の向上や保育・教育環境の整備・充実が求められています。

栃木県幼児教育センターは、幼児教育の中核的施設として、幼稚園・保育所・小学校の連携を推進しながら、栃木の子どもの幼児期から児童期への円滑な接続と幼児期にふさわしい教育環境の整備を目指します。

事業の案内・

栃木県幼児教育センターでは、国立、公立、私立の枠を越え、すべての幼稚園・保育所・小学校の教職員等を対象に、以下の4つの柱で各種事業を展開していきます。

①幼・保・小の連携を推進します

県における連携推進はもちろん、各市町・各地域における幼稚園・保育所・小学校の連携を推進します。

- ☆幼・保・小連携推進会議の開催
- ☆幼・保・小連携推進事業に関する各種事業の実施



幼児教育情報誌「おうち」

②保育・教育の質の向上を図ります

幼稚園・保育所・小学校の教職員を対象とした研修、教職員に対する教育相談、幼稚園や保育所での家庭教育や子育て支援の援助を行います。

- ☆各種研修（地区別合同研修、相互職場体験研修、新規採用幼稚園教諭研修、幼稚園教職10年経験者研修、特別支援教育研修など）の開催
- ☆教職員に対する教育相談の実施
- ☆保育・教育アドバイザーの派遣
- ☆幼児教育情報誌「おうち」の発行



栃木県幼児教育センター

③幼児教育に関する情報を提供します

幼児教育に関する各種の情報を広く提供していくとともに、教職員同士のネットワークづくりを支援します。

- ☆ビデオライブラリーによる情報の提供
- ☆ホームページによる情報の提供
- ☆幼児教育情報誌による情報の提供

④幼児教育に関する調査研究を行います

幼児教育や、幼・保・小の連携等に関わる今日的な課題についての調査研究を行い、その成果を広く発信・提供していきます。

- ☆調査研究委員会の開催
- ☆家庭における幼児教育等の実態調査



幼児教育の成果を 小学校教育へ

～幼稚園・保育所・小学校の連携推進に向けて～

遊びから学習への滑らかな接続



栃木県幼児教育センター
(栃木県総合教育センター幼児教育部)

〒320-0002 宇都宮市瓦谷町1,070番地
TEL 028-665-7215 FAX 028-665-7216

幼・保・小連携のさらなる充実のために

子どもの交流活動

Let's go! 町たんけん!
保育園訪問



相互職場体験研修



教職員の相互理解

合同の研修会
(グループ協議)



交流活動のポイント

- 幼児・児童の双方のねらいを明確にし、互いに学びのある活動を展開しましょう。
- 幼稚園や保育所と小学校と一緒に活動計画を立てることが望されます。

連携組織の設置

- 幼・保・小連絡協議会
- 幼・保・小連携推進委員会 等



連絡体制の整備

園だより・学校だよりによる情報交換



教育委員会内の使送ボックス
(幼稚園・保育所あて)



入学前後の情報交換会



連絡体制の整備のポイント

- 連絡体制の整備は、行政機関が中心となって進めることができます。幼稚園・保育所・小学校が積極的に意見を交換し、地域の特色を生かした組織をつくりましょう。
- 定期的・継続的な取組が効果的です。先生方の顔や名前がわかり、校種間の垣根が低くなることが望されます。

- 連携の様々な取組が、効果的に行われるようコーディネーターする役割があります。



幼・保・小連携を推進することで

子ども

- ☆年齢を越えた仲間関係が広がります。
- ☆あこがれやいたわりの心など、人を思いやる心が深まります。

教職員

- ☆子どもの発達段階を知ることで、教師の子ども理解が深まります。
- ☆互いの教育を知ることで、自身の教育観が深まります。

保育・授業

- ☆幼児教育から小学校教育への滑らかなカリキュラムの接続により、改善・充実が図れます。

栃木県幼児教育センターは、幼・保・小連携の取組をサポートします。

連携に関する講話・研修・保育及び授業研究会などにアドバイザーを派遣します。お電話ください。

【連絡先】TEL 028-665-7215 FAX 028-665-7216
E-mail yokyo-c@tochigi-edu.ed.jp



相互理解のポイント

- 保育・授業相互参観の後、保育・授業研究会をもち、積極的に話し合いましょう。
- 保育・授業における子どもの発達や学びに視点をおいて話し合うことが望まれます。

保育を見る視点

- 指導計画と本日の遊びがどのようにつながっているか。
- 幼児が遊びの中でどのような気付きをしているか。
- 保育者が幼児一人一人にどのような言葉かけをしているか。
- 環境の構成をどのように工夫しているか。

授業を見る視点

- 幼児期の経験が本時の活動とどのようにつながっているか。
- 教師の発問に対して児童はどのように反応しているか。
- 個に応じた指導がどのようになされているか。
- ねらいや児童の実態に適した教材がどのように提示されているか。

一貫性のある指導計画の作成

平成16年度

幼・保・小連携調査研究委員会作成

指導計画表		
階級	年 齢	年 学 年
定期・不定期行事	年齢別・年次別・年月別	入園・入学年月日
新規・既存の取組	目的をもってじっくり取り組む時	自分の意見等をまつせながら、新しい環境に慣れていく時
連携の実績	一緒に活動する時	互いの分野を楽しめ、有能さを出し合ったり、工夫したり、一緒に遊びを深めていく時
おもな取り組み	自分自身で楽しむ時	楽しい家庭の中で、教師と自分がうまく引き合っている時
指導目標	自分自身で楽しむ時	自分自身の力で楽しむ時
指導手順	自分自身で楽しむ時	自分自身の力で楽しむ時
指導評価	自分自身で楽しむ時	自分自身の力で楽しむ時
備考	自分自身で楽しむ時	自分自身の力で楽しむ時